

DO YOUR BEST



NO. 215

# 介護福祉士



2022.8発行

一般社団法人  
福島県介護福祉士会  
文責 小山田 米子

## 11月11日は

## 介護の日

### 「いい日」

### 「いい日」



11月11日は、介護の日イベントを開催します。  
皆様に楽しんでいただけるような動画を配信いたします。  
楽しみにしててください。

## FUKUSHIMA

一般社団法人 福島県介護福祉士会

〒963-0108 福島県郡山市笹川一丁目184-29 クレストハイツ184 102号室

FAX 024-943-1848 E-Mail [jaccw\\_fukushima@ybb.ne.jp](mailto:jaccw_fukushima@ybb.ne.jp)

ホームページ <http://www7b.ne.jp/~jaccw-fukushima/>

## 介護福祉士基本研修開催のお知らせ

日時：令和4年10月5日・12日・19日・26日  
いずれも9時～16時30分  
会場：福島県男女共生センター

## 技能実習指導員養成講習開催のお知らせ

日時：令和4年11月20日 9時～17時50分  
会場：郡山ユラックス熱海

## 介護福祉士国家試験対策全国一斉模擬試験開催のお知らせ

日時：令和4年11月19日 9時30分受付 10時より開催  
会場：福島県男女共生センター

## ふるさと自慢 郡山の発展と安積疎水

郡山は人口32万人超の中核都市ですが、明治初期頃は水源に乏しく発展が進まず荒涼とした不毛の地でした。その荒野だった安積原野に猪苗代湖からの水を引いた大事業が安積疎水です。明治維新による土族救済のプロジェクトにより全国の9藩から2千人余りの人々が移住し開拓が始まりました。農業用水、工業用水、飲用水だけでなく水力発電にも使用され郡山の発展に寄与し街に潤いをもたらしました。

2018年に「未来を拓いた『一本の水路』～大久保利通“最後の夢”と開拓者の軌跡 郡山・猪苗代～」が日本遺産に登録されました。当時を偲ぶ物として市内にたくさんありますが牛庭公民館内には構想をしながら事業開始目前で亡くなった大久保利通を祀る大久保神社（現在は石碑のみ）や麓山公園内の麓山の滝、開成山公園や近くの開成館には当時の生活や開拓に関する資料が展示してあります。



## 編集後記

今年の夏は、新型コロナ（ケンタウロス）の感染者激増に加えて、豪雨に見舞われた地域がたくさんあり、心穏やかにとはいかなかったですね。

また、電気料金やガソリン燃料の値上げ、物価の高騰もあり、特に物価はこの10月に6305品目が更に値上げとなるとのこと。明るい話題を探すのに苦労してしまいますが、日々の生活の中に何かしらの喜びを見出したり、密やかな楽しみを持って過ごしたいものです。





# 倫理 委員会 コラム

皆さんは、自分の「最期」を考えたことはありますか？

当時、88歳女性S様は、中学校教師をしながら、同校に勤務する夫と恋愛結婚されて一男一女にも恵まれた。定年まで教師を続け、退職後は夫と二人で海外旅行することを夢見ていた矢先、心筋梗塞で倒れ一命は取り留めたものの、さまざまな病気を併発し完全に寝たきり状態になってしまった。S様ご家族は「できる限り自宅で自分たちで介護したい」と介護保険を申請し在宅サービスを利用しながら当施設のショートステイもご利用されるようになったS様。ご利用時の口癖は「家族に迷惑をかけながら生きながらえてるのは申し訳ないけど、私の体はまだ逝くのは早いって言ってるの。痛みを感じるのは生きてる証拠！まだまだしぶとく生きるわよ。」と、か細い腕でガッツポーズをしながら微笑むS様が印象的であった。だがその頃には、すでに治療できる状態ではなく、在宅での家族介護も限界を迎えていた。S様も交えて家族会議を開き、S様から「余生は自宅でも病院でもなく、施設で過ごしたい。自分で出した結論です。」とご家族様へ伝えた。ご家族様もS様の思いを受け入れ、ショートステイを利用して気心が知れている当施設へ入居となった。入居直後から状態が悪化し、食べ物を受け付けず、経口からの摂取も難しくなり全身に浮腫みが見られるようになる。日に日に衰弱し意識混濁するなか、S様が時々口にするのは「ありがとう」であった。点滴で命を繋いでいる状態の姿を見た家族は、「生きることを切望していた人だから、施設でできる限りのことをしていただいて寿命を全うできれば本望かなと思っています。最期まで苦しまずにいてくれればそれでいいです。」と涙ながらに話されていた。施設へ入居して8日目からご家族が泊まり込み、11日目の早朝、ご家族に見守られながら息を引き取られた。

生きることを切望しながらも、自身で出した答えは治療の継続でも、家族介護でもなく、施設で最期を迎えるという選択であった。

幾多の看取り介護を経験させていただいたが、ここまで本人の意思を家族が尊重し、本人が希望する生を全うしたケースはなかったように思う。

S様の看取り介護を通じて、私をはじめ複数の職員が自分自身の「最期の時」をどんな風に迎えたいか家族と話し合うようになった。S様とご家族様から教えられたことは多く、今後の看取り介護にも生かしていきたい。



## ～コロナ禍でも頑張っている職員の皆様へ～

現在、皆様方が働いておられる高齢者の多い現場において、このコロナ禍での対応は、毎日神経をすり減らしての対応が求められるため、身体的及び精神的に大変なご苦労をされていることと存じます。本当にお疲れさまです。

感染対応をしながらの現場はさぞかし大変かと思いますが、その中においても、皆様方の温かい想いやりの言葉や心遣いは、利用者一人、一人にきっと届いています。

職種は違いますが、同じ高齢者を支えている同業種として、地域高齢者や障害者の方々がより安全に、より生き活きと過ごせるように、一緒に力を合わせて、このコロナ禍を乗り越えていきましょう。この経験はきっと、これからの糧になると信じています。

最後に、一般社団法人福島県介護福祉士会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。



いつも  
ありがとう

自分は最近まで老健の入所で仕事をしていましたが、今はケアマネージャーとして仕事をしています。以前の私は自分の施設の現状しか知らず、コロナウィルスの問題に対し現場の自分達ばかり大変だと思い込んでいました。しかしケアマネージャーとなり、各事業所の現状を知ることによって、現場の職員だけではなく、看護にリハ職、事務職などの様々な職種が苦労している事を知りました。また、それにより利用者様やご家族様にも影響がでていることを知りました。本当に大変な時期で挫けそうになる事もあると思いますが、1人1人が協力し合い、この難所を乗り越えていければと思います。

クライアントから「あなたに出会えて良かったよ」と言われる喜びを大切に

コツコツと懇切ていねいなあなたのケアは、クライアントのところにコツコツと響いてますよ。

色々と制約があるコロナ禍で、アイデアと経験を活かし力を合わせ、心に寄り添ったケアを継続する姿に驚きと感動を頂いています。

「あなたの笑顔が、誰かの心を優しい気持ちで包んでくれます。みんなで顔晴りましょう(๑>◡<๑)」

「大変な中、休みなく働いているあなた達の事がとても心配。でも、いつも笑顔で迎えてくれるあなた達がいるから安心出来る、会える事が楽しみ。いつもありがとう。」